

2024年7月2日

Press Release

タグチアートコレクション×弘前れんが倉庫美術館

どうやってこの世界に生まれてきたの？

How Did You Come into the World?

会期：2024年9月27日（金）－2025年3月9日（日）

会場：弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市）

出品作家 カミーユ・アンロ、尹秀珍、トレイシー・エミン、オスジェメオス、ミリアム・カーン、片山真理、マウリツィオ・カテラン、加藤泉、金氏徹平、モリー・ギャレス、キュンチョメ、トゥアン・アンドリュウ・グエン、工藤麻紀子、鴻池朋子、塩田千春、杉戸洋、高橋喜代史、高山明、ジャナイナ・チェッペ、千葉正也、奈良美智、西村有、ウラ・フォン・ブランデンブルク、藤倉麻子、アド・ミノリーティ、リチャード・モス、ヤン・ヘギュ、ガブリエル・リコ、ピピロッティ・リスト、ゴセット・ルポンド、ミカ・ロッテンバーク ほか

弘前れんが倉庫美術館では、日本有数の現代美術のコレクションであるタグチアートコレクションとの協働で企画展「どうやってこの世界に生まれてきたの？」を開催します。

—幸せになるために生まれてきたわたしたち

わたしたちはどうやってこの世界に生まれてきて、何をめざして生きているのでしょうか。

現在の世界では、理解できないことや他者への怖れによって引き起こされる、終わりの見えない争いや分断が絶えることがありません。それは戦争のように国単位で起こるものもあれば、インターネット上での書き込みや、学校や職場、日常生活の中での些細な会話の中に潜んでいることもあります。生きていることが大変に思えるくらいの困難に直面すると、わたしたちはさまざまな行動を起こします。今いる場所を、より良い環境にするために周囲の人たちと話し合うこと。異なる考えを持つ人が、同じ場所で共に生きていけるように、社会のあり方を変えていくこと。いろいろな考え方や知恵を学ぶために、別の土地へ旅をしたり移り住んだりすること。そして、どうにもならない場合には、そこから逃げ出すこと。こうした行動は、わたしたちがそれぞれに幸せになるための方法であり、安住の地や仲間に出会い、本当の自分を見つけることがこの世界に生まれてきた意味かもしれません。



ジャナイナ・チェッペ《Xicletoformis Pluralis》2005年
タグチアートコレクション蔵
©Janaina Tschäpe Courtesy of nca | nichido contemporary art

本展で紹介するのは、世界各地で活動する50組を超えるアーティストたちの作品です。タグチアートコレクションと、弘前れんが倉庫美術館の所蔵作品に、新作を加えて構成されます。身近な空間から異世界への扉を開いてゆくミカ・ロッテンバーク、詩的な旅のイメージの中に不穏な歴史が重なり合うトゥアン・アンドリュウ・グエン、弘前の歴史の一端が垣間見えるロック喫茶と奈良美智の作品、自分の身体を通じて世界と向き合う片山真理、そして本展のタイトルにもなった塩田千春の作品に加えて、街の中で展開する高山明のプロジェクトなど、絵画や写真、映像やレクチャー型のパフォーマンスまで、多彩な作品を通じて、生きることと幸せについて考えようとする展覧会です。

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail: press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町 2-1

展覧会のみどころ

1. 社会にひらかれた現代美術の多様な魅力を体感

タグチアートコレクションは、現在、国内外の作家の約700点（2024年4月時点）に及ぶ多様な作品を有し、日本を代表する現代アートコレクションとして国際的に高い評価を受けています。幅広いコレクションには、弘前れんが倉庫美術館やこの地に縁の深い作家の作品も多く含まれています。弘前市出身の奈良美智や奈良と親交が深く当地でもかつて展示を行った杉戸洋、青森を含む東北にゆかりのある工藤麻紀子や鴻池朋子ら、当館の歴史や地域にゆかりのある作家と共に、現代社会を反映する国際的に活躍する作家たちの作品を紹介します。また、タグチアートコレクションは、全国の小中学校を会場に作品を出張展示する「デリバリー展覧会」をはじめ、教育普及活動にも積極的に取り組んでいます。近年は、様々な社会問題に向き合う作家たちの作品も多く収集するなど、多様な人々が生きるこの社会に対してひらかれ、進化を続けています。2020年の開館以来、ラーニングプログラムにも力を入れる当館が、同コレクションと初めて協働する機会となります。

タグチアートコレクション公式サイト | <https://taguchiartcollection.jp/>

2. 弘前市内のマクドナルド4店舗が《マクドナルドラジオ大学》の展示会場に

演劇ユニット・Port B（ポルト・ビー）主宰の高山明によるアートプロジェクト《マクドナルドラジオ大学》を、弘前市内のマクドナルド4店舗を会場として実施します。本作は街中のマクドナルドを学びの場である「大学」に変えるアートプロジェクトです。高山は2017年より国内外のマクドナルドや美術館を会場に、このプロジェクトを継続的に展開しています。講義を行う「教授」は何らかの理由で故郷を離れることになった移民や難民など様々なバックグラウンドを持つ人たちで、観客は「学生」となり、マクドナルドの店内で各自のスマートフォンを使って講義を聴くことができます。本作は世界各地の移民や難民などの方々への考えや経験を知ること、異なる背景をもつもの同士が、ひとつの社会で生きていく多文化共生社会のモデルを模索しようとするものです。弘前で出会った「教授」による新しい講義のほか、これまでフランクフルト、ベルリン、東京、香港、金沢、ブリュッセル、鳥取などの都市で制作された講義を聴講できます。

3. 奈良美智の創造の原点であるロック喫茶「33 1/3」を再現展示

本展には、弘前市出身の美術家である奈良美智の作品が出品されます。加えて、奈良が高校時代に仲間と共に作り上げたロック喫茶「33 1/3」を再現します。昨年度、青森県立美術館での個展「奈良美智：The Beginning Place ここから」で発表されたこのロック喫茶は、奈良にとっては広い世界への視点を開いてくれた創造活動の原点となりました。ここには音楽を通じてさまざまな世代の人が集い、フラットで豊かな関係性が生まれる場所でもありました。本展では、仲間とつくる自分の居場所／家を象徴するものとして、このロック喫茶を再現展示します。



塩田千春《How did you come into the World?》2012年
タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金蔵
©JASPAR, Tokyo, 2024 and Chiharu Shiota



ロック喫茶「33 1/3」再現展示
「奈良美智：The Beginning Place ここから」
（青森県立美術館、2023-2024）の会場風景
一般財団法人奈良美智財団蔵
Photo: Keizo Kioku

関連プログラム

アーティストトーク（タイトル未定）

出演 | 片山真理（アーティスト）
田口美和（タグチアートコレクション共同代表）
聞き手：木村絵理子（弘前れんが倉庫美術館 館長）

日時 | 2024年9月28日（土）17：30－19：00
（受付開始 17：00）

会場 | cafe & shop BRICK（弘前れんが倉庫美術館 隣接）

料金 | 500円（ワンドリンク付）

定員 | 50名

申込み | 事前予約優先・先着順

WEB（Peatix）<https://20240928talk.peatix.com/>

電話 0172-32-8950

※申込み受付開始 | 2024年8月30日（金）10：00－

WEB | <https://www.hirosaki-moca.jp/events/9508/>



片山真理《bystander #014》2016年
タグチアートコレクション蔵
© Mari Katayama

学芸スタッフによる解説ツアー

当館学芸スタッフ展覧会の見どころを紹介します。

日程 | 2024年10月13日（日）、11月3日（日）、12月8日（日）、
2025年1月12日（日）、2月9日（日）

時間 | 11：00－11：30

料金 | 無料（要当日観覧券）

申込み | 不要

集合場所 | 1階 受付前

WEB | <https://www.hirosaki-moca.jp/events/9510/>



杉戸洋《dancing man a (left), b (right)》2007年
タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金蔵
© Hiroshi Sugito, Courtesy of Tomio Koyama Gallery
Photo: Shigeo Muto

上映プログラム

タグチアートコレクションから映像作品を上映予定です。

詳細は決まり次第、当館ウェブサイトで公開します。

高山明による弘前大学での講義

当館が実施する弘前大学への寄附講義「現代美術演習」で、高山明氏による講義を行います。本講義は受講生のほか、一般にも公開されます。

講師 | 高山明 (アーティスト)

日時 | 2024年12月15日(日) 14:00-15:30

※15分前受付開始

会場 | 弘前大学(青森県弘前市文京町1)

※教室は後日当館ウェブサイトで発表します

料金 | 無料

定員 | 一般参加 60名

申込み | 事前予約優先

WEB (Peatix) <https://20241215lecture.peatix.com/>

電話 0172-32-8950

※申し込み受付開始 | 2024年9月27日(金) 10:00-

WEB | <https://www.hirosaki-moca.jp/events/9526/>



高山明 / Port B 《マクドナルドラジオ大学》
フランクフルト 2017年
タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金蔵
Photo: Masahiro Hasunuma



尹秀珍 《ポータブル・シティ：弘前》2020年
弘前れんが倉庫美術館蔵
Photo: Naoya Hatakeyama

高山明による小学校での授業

弘前大学教育学部附属小学校で、高山明氏による授業を行います。

講師 | 高山明 (アーティスト)

日程 | 2024年12月16日(月) 13:40-14:25

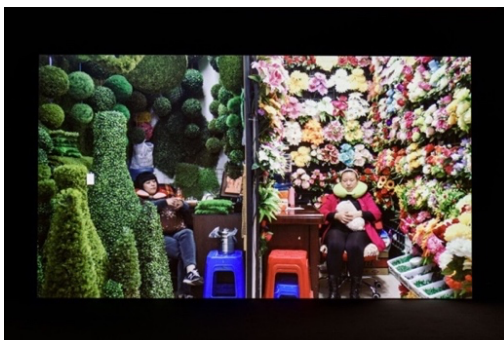
会場 | 弘前大学教育学部附属小学校(青森県弘前市学園町1-1)

対象 | 弘前大学教育学部附属小学校 5年生(予定)

※一般の方は参加いただけません

※各プログラムは取材いただけます

※このほかにも会期中は様々なイベントを予定しています。詳細は決まり次第、当館ウェブサイトで公開します



ミカ・ロッテンバーク 《Cosmic Generator (Palmtree Variant)》2019年
タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金蔵



マウリツィオ・カテラン 《無題》2001年
タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金蔵
Photo: Attilio Maranzano / Courtesy Maurizio Cattelan's Archive
and Galerie Emmanuel Perrotin

その他のプログラム

「れんが倉庫部」による建築ガイドツアー

当館のボランティアプログラム「れんが倉庫部」の部員がガイド役となり、館内を巡りながら建物の歴史や見どころについて解説します。

日程 | 2024年10月19日(土)、11月16日(土)、12月21日(土)
2025年1月18日(土)、2月15日(土)

時間 | 11:00-11:30

料金 | 無料

申込み | 不要

集合場所 | 1階 エントランス

WEB | <https://www.hirosaki-moca.jp/events/9524/>

美術館のお正月 2025

2日間限定の新春イベントです。当館のオリジナルグッズが当たる「美術館ガチャ」をはじめ、子どもから大人までお楽しみいただけるイベントを予定しています。1月3日には、本展上映プログラムも実施します。

日程 | 2025年1月2日(木)、1月3日(金)

WEB | <https://www.hirosaki-moca.jp/events/9512/>

プレスツアー

展覧会の開幕初日にプレスツアーと開会セレモニーを開催します。

当日は、田口美和氏、出品作家の片山真理氏、高山明氏らが出席を予定しています。

日程 | 2024年9月27日(金)

内容 | 13:00-13:45 プレスツアー

会場：弘前れんが倉庫美術館 展示室

14:00-14:30 《マクドナルドラジオ大学》作品説明

会場：マクドナルド 弘前大町店（青森県弘前市大字大町1-17-7）

15:00-15:20 開会セレモニー

会場：弘前れんが倉庫美術館 正面入口前（予定）

※開館時間中のため、一般の来館者がいる中での実施となります

※時間は変更になる場合があります。詳細は後日ご案内します

開催概要

- | 展覧会名（日本語）： タグチアートコレクション×弘前れんが倉庫美術館
どうやってこの世界に生まれてきたの？
- | 展覧会名（英語）： Taguchi Art Collection + Hirosaki Museum Contemporary Art
How Did You Come into the World?
- | 会期： 2024年9月27日（金）－2025年3月9日（日）
- | 会場： 弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市吉野町2-1）
弘前市内のマクドナルド4店舗（高山明作品のみ）
※各店舗の営業時間内に体験できます
- | 開館時間： 9:00－17:00（入館は閉館の30分前まで）
- | 休館日： 火曜日、12月26日（木）－1月1日（水）、2月12日（水）
※2月11日（祝・火）は開館
- | 観覧料 [税込]： 一般 1,500円（1,400円） 大学生・専門学校生 1,000円（900円）
高校生以下 無料
※（ ）内は20名様以上の団体料金
※弘前市民は当日料金から500円引き（他の割引との併用不可）
※その他以下の方は無料
弘前市内の留学生の方／満65歳以上の弘前市民の方／ひろさき多子家族応援
パスポートをご持参の方／障がいのある方と付添の方1名
- | 主催： 弘前れんが倉庫美術館
- | 特別協力： タグチ現代芸術基金、一般社団法人アーツプラス現代芸術研究所、
アート・オフィス・シオバラ
- | 協力： Port B、MISA SHIN GALLERY、弘前市内マクドナルド4店舗
- | 一般問合せ： TEL 0172-32-8950
- | アクセス： JR弘前駅より
 - 弘南バス・土手町循環100円バス「中土手町」下車 徒歩 約4分
 - 徒歩 約20分
 - タクシー 約7分
 当館には駐車場はございません
公共交通機関をご利用いただくか、近隣の有料駐車場をご利用ください
- | ウェブサイト： <http://www.hirosaki-moca.jp>
- | SNS： Instagram/Threads：@hirosaki_moca
X：@hirosaki_moca
Facebook：@hirosaki.moca

美術館について

弘前れんが倉庫美術館は、明治・大正時代に酒造工場として建設され、戦後はシードル工場として使われた煉瓦造の建物を「記憶の継承」をコンセプトに改修し、2020年に開館した現代美術館です。黒いコルタールの展示壁や高さ15mの吹き抜けなど空間の特性を生かした現代アートの展覧会を開催しています。奈良美智、ジャン＝ミシェル・オトニエルをはじめ国内外のアーティストのコレクション作品を展示するほか、ライブラリーや貸出スタジオを備えています。また、シードル工房を併設したカフェ、ミュージアムショップが隣接しています。



©Naoya Hatakeyama

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当: 大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail: press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1

2024年7月2日

弘前れんが倉庫美術館 E-MAIL: press@hirosaki-moca.jp / FAX: 0172-55-5982 宛

タグチアートコレクション×弘前れんが倉庫美術館

「どうやってこの世界に生まれてきたの？」

広報画像申請書

会期：2024年9月27日（金）－2025年3月9日（日） 会場：弘前れんが倉庫美術館

▼貴媒体についてお知らせください

媒体名	貴社名	
ご担当者名	所属部署	
ご住所 〒		
TEL	FAX	E-MAIL
掲載・放映予定日 月 日 <input type="checkbox"/> 読者プレゼント（招待券）を希望する 組 名様（2025年2月末迄掲載対象）		

*画像1点以上ご掲載の場合、本展の招待券10枚まで提供します。 / 美術館までの交通費は自己負担のご案内をお願いします。

▼ご希望画像の番号に○印をつけてください。ご使用の際は所定のキャプション・クレジットの記載をお願いします。

広報画像 キャプション・クレジット

- ジャナイナ・チェッペ 《Xicletoformis Pluralis》2005年 タグチアートコレクション蔵
©Janaina Tschäpe Courtesy of nca | nichido contemporary art
- 塩田千春 《How did you come into the World?》2012年 タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金蔵
©JASPAR, Tokyo, 2024 and Chiharu Shiota
- ロック喫茶「33 1/3」再現展示 一般財団法人奈良美智財団蔵
「奈良美智: The Beginning Place ここから」（青森県立美術館、2023-2024）の会場風景
Photo: Keizo Kioku
- 片山真理 《bystander #014》2016年 タグチアートコレクション蔵 ©Mari Katayama
- 杉戸洋 《dancing man a (left), b (right)》2007年 タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金蔵
© Hiroshi Sugito, Courtesy of Tomio Koyama Gallery Photo: Shigeo Muto
- 高山明 / Port B 《マクドナルドラジオ大学》フランクフルト 2017年
タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金蔵 Photo: Masahiro Hasunuma
- ミカ・ロッテンバーグ 《Cosmic Generator (Palmtree Variant)》2019年
タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金蔵
- マウリツィオ・カテラン 《無題》2001年 タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金蔵
Photo: Attilio Maranzano / Courtesy Maurizio Cattelan's Archive and Galerie Emmanuel Perrotin
- 尹秀珍 《ポータブル・シティ：弘前》2020年 弘前れんが倉庫美術館蔵 Photo: Naoya Hatakeyama

▼広報画像の掲載について

- ・広報画像の使用は展覧会をご紹介いただく場合のみとさせていただきます。
- ・広報画像をご掲載いただく場合、所定のキャプション・クレジットを必ず記載してください。
- ・全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字のせはご遠慮ください。
- ・掲載記事、番組内容については、基本情報確認のため、可能な範囲でグラブリ・原稿の段階で広報までメールまたはFAXでお送りください。

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail：press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1

▼広報画像一覧

1



2



3



4



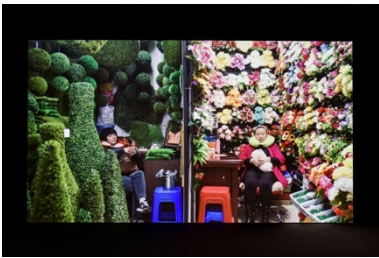
5



6



7



8



9

